

PRESS RELEASE

2019年7月8日

大名プロジェクト特定目的会社
代表企業：積水ハウス株式会社
ホテルオペレーター：マリオット・インターナショナル九州初の「ザ・リッツ・カールトン ホテル」誘致決定
「スタートアップ&グローバル」新ビジネス拠点誕生へ

福岡市「旧大名小学校跡地活用事業」が着工

積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、西部瓦斯株式会社、株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社の5社は、「天神ビッグバン*」エリア内における「旧大名小学校跡地活用事業」につきまして、「大名プロジェクト特定目的会社」を設立し、2022年12月の竣工を目指して、ホテル・オフィスを含む複合施設の工事に2019年7月8日に着手いたします。

旧大名小学校跡地は、地域におけるこれまでの地域活動や災害時の避難場所としての役割を担う場所であるとともに、様々な都市機能や交通拠点が集積する天神地区に隣接し、「天神ビッグバン」の西のゲートとして、都心部の機能強化と魅力づくりを図る上で重要な役割を担う場所でもあります。本プロジェクトでは九州初となるラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン ホテル」が入居し、2022年度の開業を予定しています。162室の客室はすべて広さ50㎡以上の贅沢な空間であり、スパなどの様々な付帯施設も準備しています。



明治通り東側からの全景



天神ビッグバン対象エリア

「旧大名小学校跡地活用事業」の特長

グローバル創業都市・福岡を具現化する以下の4つの項目は、相乗効果をおこし成長のスパイラルとなります。これまで九州になかった価値を生み出すことで、福岡の都市ブランドの向上とアジアのリーダー都市への成長に寄与します。

- 九州初のラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン ホテル」を誘致
- ワンフロアの専有面積が2,500㎡以上のハイグレードオフィスを配置
- 旧大名小学校南校舎のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」と連携した創業支援・人材育成環境の提供
- 約3,000㎡の広場やコワーキングスペースなどを通じた世界や地域との多様な交流拠点

*更新期を迎えた民間ビルなどが多く集まる天神地区において、国家戦略特区による規制緩和等を活用し新たな空間と雇用を生み出す福岡市の取り組み

「ザ・リッツ・カールトン福岡」

日本で7番目となる2022年度に開業予定の「ザ・リッツ・カールトン福岡」は、商業・業務機能が集積し、ショッピングや観光、ビジネスの拠点である天神に隣接し、最寄りの天神駅からはわずか徒歩5分圏内と大変便利なロケーションを誇ります。高層階ならではの景色が広がる当ホテルは全162室のゲストルームを擁し、お食事やカクテルをお楽しみいただける6つのレストランやバーを提供する予定です。また、ビジネス向けの会議室や特別なイベントに向けたボールルームや会議室のほか、ロマンチックなウェディングやお祝いの場としてご利用いただけるチャペルも完備します。室内プールやジム、ブランドを代表する「ザ・リッツ・カールトン スパ」も備え、上質なサービスとともに、最高のゲストエクスペリエンスをお届けし、福岡へと訪れるお客様にこの上ない、そして生涯忘れ得ぬ思い出を創り上げます。

ハイグレードオフィス、創業支援・人材育成環境

総面積約30,000㎡となるオフィスは、基準となるフロアは、ワンフロアの専有面積が約2,500㎡となる九州最大級の自由度の高い計画となっています。加えて高度なセキュリティ機能と十分なBCP性能、耐震性を備えた安全・安心のハイグレードなオフィスです。MICE*機能も備えており、グローバルビジネスを呼び込む事も可能です。また、旧大名小学校南校舎のスタートアップ支援施設と連携し、企業の成長をバックアップするコワーキングスペース、イベントホール等からなる施設構成により、企業の創業や成長、および人材の育成に適した環境を提供します。



オフィススカイロビー（3階）



カンファレンスラウンジ（3階）

多様な交流拠点

都心にありながら約3,000㎡の広大な広場を設け、イベントホールとの一体的利用による憩い・賑わいの創出や、コワーキングスペースなどによる企業や人材の交流など、世界や地域との多様な交流拠点を目指しています。



広場東側からオフィス棟を望む

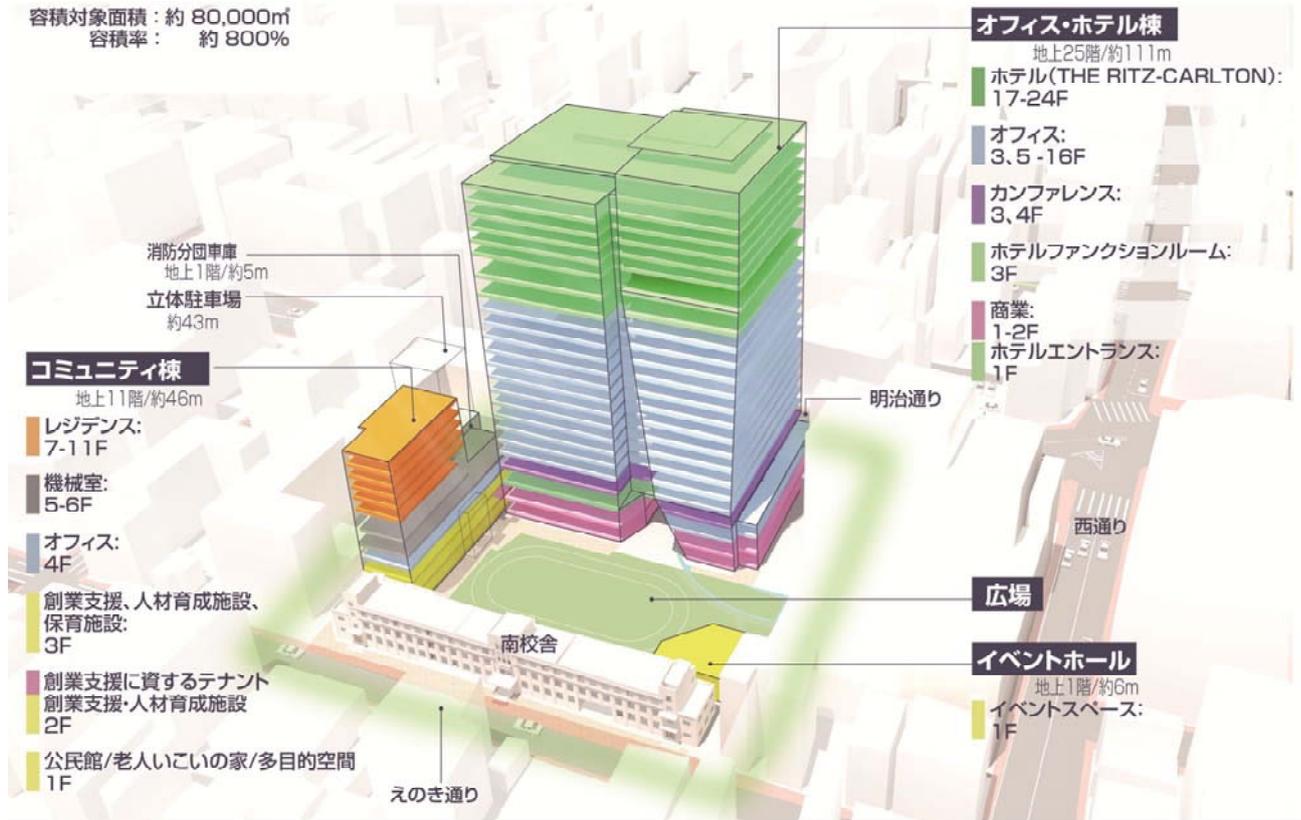


広場西側からイベントホールを望む

*MICE : Meeting（会議・研修・セミナー）、Incentive tour（報奨・招待旅行）、Convention または Conference（大会・学会・国際会議）、Exhibition（展示会）の頭文字をとった造語で、ビジネスラベルの一つの形態。

プロジェクト概要

容積対象面積：約 80,000㎡
容積率：約 800%



南東上空よりの全景



明治通りからの近景

※本リリース内の画像はすべてイメージです。

事業主	大名プロジェクト特定目的会社 積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、西部瓦斯株式会社、 株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社
ホテル運営	マリオット・インターナショナル
施工	清水建設株式会社、株式会社鴻池組、積和建設九州株式会社
設計	株式会社久米設計、株式会社醇建築まちづくり研究所
維持管理・運営	西日本鉄道株式会社、三菱地所株式会社、積和管理九州株式会社
土地所有者	福岡市

所在地	福岡県福岡市中央区大名二丁目 165 番 1,2 及び 3	
敷地面積	約 11,900 m ² (計画地面積 (既存の南校舎敷地を除く) : 約 10,000 m ²)	
全体概要	計画概要 : 地下 1 階、地上 25 階 延床面積 : 約 90,400 m ² 容積対象床面積 : 約 80,000 m ² 建築面積 : 約 5,600 m ² 最高高さ : 約 111m	
広場	<ul style="list-style-type: none"> ・校区行事の活用を踏まえた形状。面積 : 約 3,000 m² ・ベンチの設置やイベントホールとの一体的利用による憩い・賑わいの場の創出。 ・防災広場としての活用を踏まえた設備等の確保による防災拠点づくり。 	
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・老人いこいの家 : 広場に面した 1 階に集約して配置。 ・多目的空間 (ギャラリーを含む) : 公民館・老人いこいの家と一体利用可能な 1 階に配置。 ・消防分団車庫 : 敷地北西側へ配置し、明治通りへの出動動線を確保。 	
民間施設	オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロア最大貸付面積 : 約 2,500 m² ・高いセキュリティ性能を備えた、BCP (事業継続計画) 対応のオフィスを整備。 ・天神ビッグバンに伴うオフィス移転フロアを確保
	ザ・リッツ・カールトン 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・客室 : 162 室、全室面積 50 m²以上。 ・付帯施設 : レストラン、バーラウンジ、チャペル ボールルーム、会議室、屋内プール、フィットネスセンター スパ「ザ・リッツ・カールトン スパ」
	創業支援・ 人材育成施設	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ棟 2、3 階にコワーキングスペースやシェアオフィスを配置し、南校舎のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」と連携。 ・起業家達の様々な交流・イベントや、文化・芸術・国際交流のイベント等の場として、広場に面してイベントホールを整備。
	保育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・定員 50 名の保育施設を整備。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡初、日本初進出の商業店舗を誘致するほか、インバウンド層や MICE 関連イベントに対応可能な多様な空間を整備。 ・グローバル企業向けの国際水準のレジデンス (賃貸) を整備。

全体予定工期	準備工事着工	2019 年 7 月 8 日
	本体工事着工	2019 年 12 月
	公共施設順次供用開始	2021 年 10 月
	竣工・全体供用開始	2022 年 12 月
	ホテル開業	2022 年度末

各社代表コメント

積水ハウス株式会社 代表取締役社長 仲井 嘉浩

福岡市の重要なプロジェクトの一部として、ザ・リッツ・カールトン福岡を誘致できた事を非常に嬉しく思います。マリOTT・インターナショナルとの長年のコラボレーションを通じて、ザ・リッツ・カールトン福岡は上質なおもてなしのレベルを向上させ、また、この素晴らしい街へのレジャーやビジネスを目的とした来訪者にとって有意義な旅のアクセントとなると確信しています。

西日本鉄道株式会社 代表取締役社長 倉富 純男

福岡市が推進されている「天神ビッグバン」の一翼を担う大プロジェクトに事業者の一員として参画できることを大変喜ばしく思っております。ザ・リッツ・カールトンを中心とした本プロジェクトが人々の集う新たなランドマークとなり、福岡市の更なる発展に貢献できるよう、西鉄グループが福岡・天神のまちづくりを通して培ってきた強みを活かし、他の事業者と一緒に全力を尽くしてまいります。

西部瓦斯株式会社 代表取締役社長 道永 幸典

福岡市の新たなランドマークとなる本プロジェクトに参画企業の一員として携わることを大変光栄に思っております。伝統ある学びの地で「天神ビッグバン」をリードすると共に、新しい価値を創造するグローバル創業都市として国内外の人々が集う魅力ある街づくりと地域の発展に貢献できるよう参画企業各社と連携を図って参ります。

株式会社西日本新聞社 代表取締役社長 柴田 建哉

創刊 142 年を数える西日本新聞社が本事業に参画する狙いは、本社を構える福岡市天神の発展に主体的にかかわり、名実ともに「地域づくりの先頭に立つ」という社の理念を体現することにあります。中心市街地に残された貴重な公有地の再開発は、地域の発展を見通す上で極めて重要な役割を担います。本プロジェクト参加によって、日頃から親交の深い各企業と連携して、地域本位、市民本位のまちづくりに積極的にかかわり、寄与したいと考えます。

福岡商事株式会社 代表取締役社長 久保山 英樹

福岡市が目指す新しい価値を生み成長するグローバル創業都市の新たな拠点創出のため、本プロジェクトの一員として、福岡の都市機能強化とブランド向上の一助となるよう、事業を推進してまいります。参画企業各社と連携により、「天神ビッグバン」の西ゲートとして、新たな都市環境作りに貢献して行きます。

マリOTT・インターナショナル アジア太平洋 社長兼マネージングディレクター クレイグ・スミス

日本国内において 7 軒目のリッツ・カールトンホテルとなる、ザ・リッツ・カールトン福岡を開業に向けて進めることができ、嬉しい限りであるとともに、積水ハウスとまたこうしてパートナーを組むことができ、大変光栄に思います。福岡は、日本にとって数世紀にわたり重要な港町として栄え、インバウンド旅行客数は年々増加しています。ザ・リッツ・カールトンの紳士と淑女により届けられる伝説的なサービスや体験を待ち望むラグジュアリーな旅行者にとって、ザ・リッツ・カールトン福岡が快適なくつろぎの場となることを確信しております。